

鍼灸柔整新聞

発行所 (株)日本医療福祉新聞社
編集発行人 岸野雅方
〒530-0057
大阪市北区曾根崎2-2-1 梅新21ビル
編集局 TEL 06(6315)1922
E-mail shinkyu@jusei.gr.jp
URL http://news-shinkyujusei.net/
年間購読料 3,600円(年24回発行)

視覚障害者の職域の選択肢を広げる

大阪府立視覚支援学校 柔整科新設

来年4月より大阪府立視覚支援学校(大阪市住吉区)で「柔道整復科」が開設される。視覚障害を対象とする特別支援学校初の柔道整復師養成課程開設を前に、設置に至った経緯などを、同府教育委員会の支援教育課で、視覚支援学校の建て替え計画や学科の再編・文部科学省との調整等に関わった担当者に聞いた。

「柔整科新設」が持ち上がったきっかけは？

老朽化した校舎の建て替えに合わせて「教育課程の再編」の検討が行われたのが契機といえます。

校舎の一部は昭和13年に建てられており、耐震性を確保する必要があることから、平成18年頃から建て替えに向けて計画が動き出しました。ハード面だけでなく、視覚障害者を取り巻く環境や教育ニ

ズの変化に対応する学科の再編や教育内容といったソフト面について

でも見直しを進めました。——なぜ「柔整」が選ばれたのですか？

まず、同校の高等部専攻科(理学療科、保健理療科、理学療法科、音楽科、情報処理科)の中で、近年、音楽科と情報処理科の入学者数の減少が著しく(両科とも平成26年度より入学者募集を停止)、

柔整の業団体、概ね賛同

これに代わる新学科の設置が検討の軸になりました。

また、理療科卒業生が柔整の専門学校に通い、柔道整復師免許を取得後、開業して生計を立てているというケースが既にあり、「柔道整復師養成課程」を視覚支援学校に設置することで、視覚障害者の職域の選択肢を広げることができるとして柔整科設置に向けて取り組みました。

——周辺の反応は？

視覚障害者の職業的自立を支援するという目的から、視覚障害者団体はもとより、柔道整復師の業団体からも概ね賛同を得られました。その後、新校舎建て替えの計画とともに、認可申請手続きを進め、11月11日付で文部科学省から柔道整復師養成施設の指定をいただきました。